

2020年8月6日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 松山 哲人
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

**エピルビシンミセルに関する川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター
(iCONM) からの記者発表成果のお知らせ**

**～悪性脳腫瘍に対する治療効果を飛躍的に高める化学免疫療法を
エピルビシンミセルと免疫チェックポイント阻害剤との併用により実現～**

(公財)川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター(iCONM、センター長:片岡 一則)は、東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻との共同研究により、脳腫瘍の中でも最も予後の悪いグリオブラストーマ(膠芽腫:GBM)に対し、エピルビシンを内包させたナノミセルと免疫チェックポイント阻害剤を併用する新規治療法をマウスで実証したと8月4日に記者発表されました。本研究成果は、米国化学会誌ACS Nanoに近日中にWeb公開される予定とのことです。本件、当社のNC-6300に関連する情報としてお知らせいたします。

Title: Translational Nanomedicine Boosts Anti-PD1 Therapy to Eradicate Orthotopic PTEN Negative Glioblastoma

【要旨】pH応答性機能を付加したエピルビシン内包高分子ミセルが用いられ、全身投与においても、顕著な副作用の軽減に加え、脳内で165倍量のエピルビシン送達認められました。内包するエピルビシンの疾患部位での放出により、免疫誘導細胞死を引き起こす作用発現とともに、免疫チェックポイント阻害剤(ICI)を併用することで、ICI単独では効果が低い腫瘍において、これらの相乗効果が得られ、ICIの効果を高めることに成功し、有効な治療法が求められる悪性の膠芽腫において、延命効果が確認されました。

当社は軟部肉腫を対象に米国でNC-6300(エピルビシンミセル)の臨床試験を実施しております。また、本剤と免疫チェックポイント阻害剤との併用による治療効果増強に関するiCONMとの共同研究(2019年5月21日付ご案内)により、ライセンスアウト/承認申請に向けた強固なデータ取得を進めております。

尚、本件による2021年3月期業績への影響はございません。

以上